

広野町はたちを祝う会



令和5年広野町はたちを祝う会が1月8日(日)、広野町公民館において執り行われました。今年から成人年齢が18歳へ引き下げられたことで、これまで開催していた「成人式」を「はたちを祝う会」として開催しました。今年二十歳を迎えられる23名の方が出席されました。

会場では色とりどりの振袖や、キリッとしたスーツ姿に身を包み再開した級友たちと記念撮影をする姿などが見られました。

震災と原子力災害で避難生活を余儀なくされ、多くの試練を乗り越え二十歳を迎えられたことに、遠藤町長、北郷議長をはじめ来賓された方々から新しい門出の祝福の言葉をいただきました。



謝辞

成人代表 根本 柊しゅうさん



本日、私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を催していただきまして、誠にありがとうございます。コロナ禍という大変な状況下でありながら開催に向けてご尽力くださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

遠藤町長をはじめ、ご来賓の方々からの心にしみるご祝辞、激励の言葉をいただき、身の引き締まる思いがいたします。

二十歳という一つの節目を迎え、この町で共に過ごした仲間たち、お世話になった先生方とこうして再開できたことを大変うれしく思います。震災で離ればなれとなり、

この場で同席することのできなかった仲間たちも、今日という晴れの日を迎えてくれていることと思います。思い起こせば十二年前私たちは八歳の時に東日本大震災を経験し避難を余儀なくされました。そうした中でも仲間と励まし合い、家族や地域の方々、そして何より広野町に支えていただいたおかげで今日の私たちがあります。震災を経験した私達だからこそ出来ることは何かを考え、お世話になった広野町や地域の方々には何らかの形で恩返しをしていきたいと思っています。

現在、私たちの中には、社会人として活躍している人、目標に向け学業に励んでいる人など、立場は様々ですが、それぞれが自分の夢に向かって歩み続けています。今後、迷う事や立ち止まる事もあると思いますが、この広野町で培った経験を糧に乗り越え、進んでまいります。

最後になりますが、まだまだ未熟な私達ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。成人としての自覚、責任を持ち、そして感謝の気持ちを忘れず、人との関わりを大切に、たくましく生きていくことを誓い、新成人代表の謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。